



学校だより 12月号

令和5年11月30日
横浜市立日限山小学校
〒233-0015

港南区日限山二丁目16番1
TEL 045(841)6561

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

教育活動の積み重ねを大切に

～教育長による学校訪問に力を得て～

校長 岡崎 陽子

先日は秋の深まる舞岡公園で、たてわり全校遠足を実施することができました。1年生から6年生までの子どもたち7、8人でグループを作り、午前中は、クイズやゲームに挑戦しながらポイントを獲得していくオリエンテーリングを楽しみました。午後は、長縄跳びでベスト記録を目指しました。お互いの顔や名前を覚えるところから始まったたてわり活動も、年間を通して同じメンバーで活動してきたので、声をかけたり、言葉を交わしたりする関係に育ってきました。学年を越えた友達との交流を深めることができた秋のよき日となりました。

さて、11月22日（水）に横浜市教育委員会から鯉淵教育長をはじめ、教育委員、教育政策推進課や特別支援教育課の指導主事等、総勢12人の方々が、学校現場の様々な成果や課題を把握するという目的で本校を訪問されました。授業の様子や学校施設をご覧になり、意見交換を行う機会を得ました。

授業については、5年生の理科「流れる水のはたらき」を参観されました。フラワーアレンジメントを作る材料になるオアシスというスポンジを石に見立て、水の入った容器に入れて蓋をして、回数を決めてシャカシャカと容器を振ります。振る回数によってオアシスの形が変化していく様子から流れる水のはたらきについて考えるという授業でした。子どもたちは、実験結果を元に、流れる水のはたらきによって石の形が変化することや砂ができる理由について、自分の意見を述べていました。最後に自分のタブレット端末で文を入力したり、画像を撮影したりして学習のまとめを行いました。授業を参観された方々から、落ち着いた雰囲気の中、子どもたちが主体的に学習していることやタブレット端末を自在に使っていることを褒めていただきました。

学校施設については、エレベーターや多目的トイレの活用状況、その他のバリアフリーの現状や問題点等についてご確認いただきました。車椅子を使用するお子さんが入学してから3年目によりやく完成したエレベーターや多目的トイレは、今、怪我をした子や体調の悪い子も利用したり、保護者や高齢者の方も必要に応じて使用したりしています。エレベーターは重い荷物を運ぶときにも便利です。これらの施設のおかげで教育活動が大いに助けられていることをお伝えしました。

コロナ禍の3年間あまり、教育活動は様々な制限を受けましたが、本校ではその間も、学校教育目標である「笑顔が光る日限の子」の実現を目指して、できることをやっいてこうと工夫して教育活動を積み重ねてきました。「一人ひとりを大切にすること」「子どもたちにとってどうかを考えること」「だれもが安全・安心に過ごせるようにすること」を念頭に置きながら、職員一丸となり学校づくりに取り組んできました。今回の教育長による学校訪問で、生き生きと学ぶ子どもたちの姿を褒めていただき、学校施設の活用状況に関心を寄せていただけたことは、私たち教職員にとっても、今後に向けた力を得た思いがしています。12月は、個人面談や土曜授業参観、学校評価アンケートの実施を予定しています。保護者、地域の皆様から忌憚のないご意見をお聞かせいただき、よりよい学校づくりに向けて、これからも着実に教育活動を積み重ねていきたいと思ひます。引き続きよろしくお願ひいたします。